

こんな大人になりたいな

小学3年 中村 璃子

わたしには大切にしている言葉があります。それは幼稚園の卒園式で先生と友達みんなと一緒にやくそくした言葉です。

「人の心と体をきずつけない。」

わたしには妹と弟がいますが、たまにケンカをしてしまいます。そんな時、わたしは心ない一言を言って、妹や弟の心をきずつけ、泣かせてしまうことがあります。

「約束をやぶっちゃった・・・」

すぐに、「ごめんね」とあやまるのですが私の心もしばらくの間、苦しいままです。わたしは言葉ってとても大切なんだ、と思いました。

わたしが弟とケンカをした次の日、通学する電車内で小さい男の子と一緒にのお母さんを見かけました。男の子はちょうどわたしの弟と年が同じくらいでした。男の子はきげんが悪かったのか、お母さんをたたきながら、お母さんに悪口を言っていました。その悪口は前日のケンカでわたしが弟に言った言葉と同じでした。それを言われた男の子のお母さんはおこらずに、男の子に

「お母さん、とってもかなしいな。もし、あなたが言われたらどう思うかな。」

と、男の子にやさしく話しかけていました。それを見ていたわたしは、心が温かくなりましたが、前日の自分のことをはずかしく思いました。

言葉がもっている力はすごいと思います。言葉を話すことは他の動物にはできない、人間だけができるものです。そして、人は言葉で気持ちを伝え、相手をよろこばせたり、ゆう気づけたり、悲しませたりします。だから、わたしは言葉をもっと大事につかいたいと思いますし、すてきな言葉をつかうことで家族やお友達を悲しませないようにしたいと思っています。